

令和5年産らっかせいの概況

令和5年産千葉県のらっかせいの作付面積は4,680ha、収穫量は13,400tとなり、前年産に比べてそれぞれ110ha、1,500t減少しました。

おおむね天候に恵まれたものの、7月中旬以降の降雨が少なく水分不足となり、空さやの発生や子実の充実不足が見られたことから、子実重の充実が良好であった前年産に比べ、10a当たり収量は下回りました。

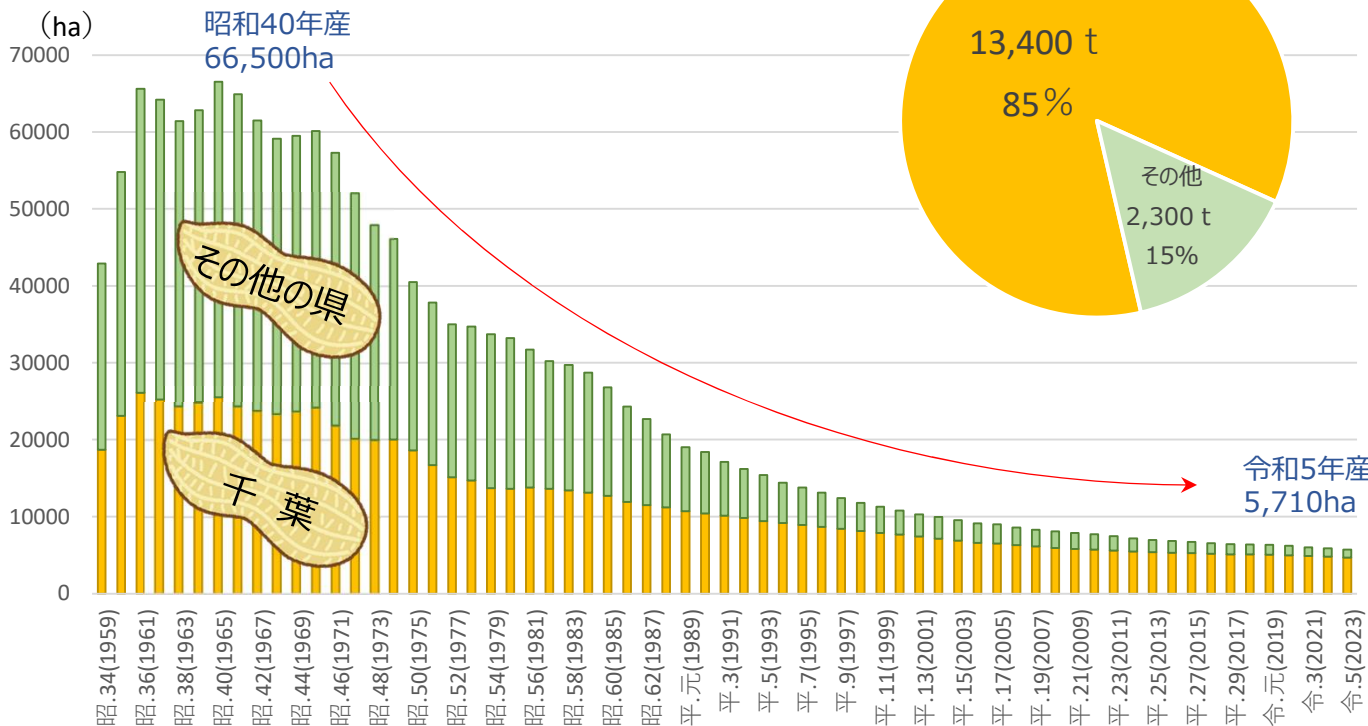
全国農業 地域 都道府県	作付面積	10a当 たり 収量	収穫量	前年産との比較					(参考)	
				作付面積		10a当 たり 収量	収穫量		10a当たり 平均収量 対比	10a当たり 平均収 量
				対差	対比	対比	対差	対比		
	(1) ha	(2) kg	(3) t	(4) ha	(5) %	(6) %	(7) t	(8) %	(9) %	(10) kg
全 国	5,710	275	15,700	△ 160	97	92	△ 1,800	90	117	236
千 葉	4,680	287	13,400	△ 110	98	92	△ 1,500	90	119	242

令和5年産小豆、いんげん及びらっかせい(乾燥子実)の収穫量(農林水産省)

- 注：1 らっかせいの作付面積調査及び収穫量調査は主産県調査であり、作付面積調査は3年周期、収穫量調査は6年周期で全国調査を実施している。
 2 令和5年産調査については、作付面積調査及び収穫量調査ともに主産県を対象に調査を実施した。
 3 主産県とは、直近の全国調査年である令和3年産調査における全国の作付面積のおおむね80%を占めるまでの上位都道府県である。
 4 全国の作付面積及び収穫量については、主産県の調査結果から推計したものである。
 5 「(参考) 10a当たり平均収量対比」とは、10a当たり平均収量(原則として前年産を起点とした過去7か年のうち、最高及び最低を除いた5か年の平均値をいう。ただし、過去7か年全ての10a当たり収量が確保できない場合は、6か年又は5か年の最高及び最低を除いた平均とし、4か年又は3か年の場合は、単純平均である。)に対する当年産の10a当たり収量の比率である。なお、過去7か年のうち、3か年分の10a当たり収量のデータが確保できない場合は、10a当たり平均収量を作成していない。

作付面積の推移

昭和40年産をピークに減少しています。
 全国の82%が千葉県で作付けされています。



収穫量の割合 (令和5年産)

全国の収穫量の85%を占めています。

